

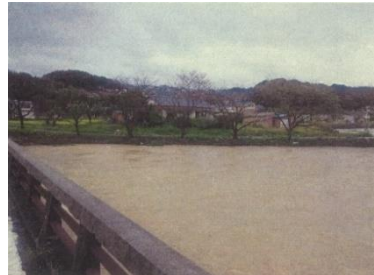
# 【瀬戸市の流域治水対策】



“住みたいまち 誇れるまち 新しいせと” 水災害リスクを低減するまちづくり



グリーンインフラ:水辺の賑わい空間創出(水野川の桜並木)



一級河川 水野川 (平成23年9月 台風15号)

## 対策メニュー

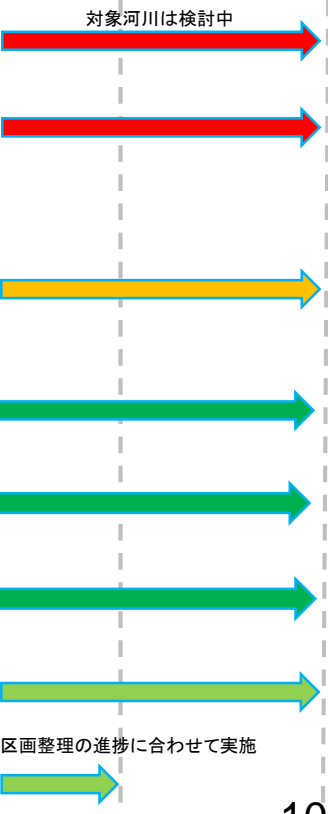
- 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施)
  - 流出抑制対策
  - ・ため池等の活用 (ため池の活用を実施)

- 【被害対象を減少させるための対策】
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
  - ・水害リスクを考慮した居住誘導 (水害リスクの低い地域への移住誘導を検討)

- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】
- 被害軽減対策
  - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (作成した計画に基づく避難訓練の実施促進)
  - ・ハザードマップの更新 (現行のハザードマップの背景地図を更新)
  - 住民の主体的な避難行動を促す取組
  - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
  - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進

- 【グリーンインフラの取組】
- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
  - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全(ため池)
  - 魅力ある水辺空間・賑わい創出
  - ・水辺の賑わい空間創出 (河川沿いの桜並木を鑑賞できる遊歩道整備)

## 短期 中・長期



- 一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施(検討中)
- ため池の活用
- 移住誘導の検討
- 避難訓練の促進
- ハザードマップの更新

## 瀬戸市全域図

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定